



来て/見て/住んで/
Yamakita

議会だより



定例会・審議結果…P. 2～3

一般質問…P. 4～7

No.164

神奈川県山北町
平成23年2月1日

再生紙を使用しています。

平成22年第4回定例会（12月議会）

平成22年第4回定例会が12月8日から10日までの3日間開催されました。主な議題は一般会計と特別会計の補正予算でした。他に神奈川県町村情報システム共同事業組合の設置と人事案件2件があり、いずれも原案どおり可決しました。

補正予算

一般会計

補正の主な内容は、土地開発公社所有の、すでに使用している土地の債務を繰上返済する。

人事院勧告に基づく職員給与・手当を減額する。の2点で、歳入歳出それぞれ1億7788万円を増額するものです。

池谷議員 ふれあいビレッジの土砂排出は、当初の予算どおりできるのか。

答弁 公共残土は、中井町まで運搬処理するのが1市5町の決まりになっておりますが、約500メートル横に受け入れ可能地があ



復旧が進むふれあいビレッジ

り、予算内で対応できるようにになりました。

川村議員 新型インフルエンザ接種委託料を補正しているが、今年は季節A、Bと、新型の混合ワクチンである。新型を増やした理由は何か。

答弁 高齢者のほかに低所得者にも助成をすることになりました。

岩本議員 町内医療機関のワクチン確保は大丈夫か。

答弁 ワクチンが不足の情報はありません。

茂木議員 中央公民館のピンマイクは、近々改正される周波数割り当てが決まってから購入すべきではないのか。

答弁 情報を精査して対応します。

石田議員 山北駅周辺にイルミネーションを設置したが、電気料金はいくらか。

答弁 北側と鉄道公園側で約60万円です。

佐藤議員 町が土地を借りて個人が住宅として使用しているが、どのような契約をしているか。

答弁 個人と町が貸借契約をしています。売買要求

がある場合は、町との契約を解除し、互いの交渉で売買をしています。

瀬戸(恵)議員 保育園運営事業で、0歳児が増えているが、受け入れ許容はあるのか。



0歳児保育(わかば保育園)

答弁 町内で希望があれば、わかば・向原・清水保育園でやりくりをして全員入園させることを基本にしています。

熊澤議員 母子保健事業

で、10万円寄附の備品購入内容は。

答弁 若いお父さん、お母さんに赤ちゃんの大きさを疑似体験していただく用具です。

特別会計

国民健康保険事業

医療給付費増額等により歳入歳出それぞれ7338万円を増額するものです。

佐藤議員 療養給付費が増えている要因は何か。

答弁 100万円を超える医療費が急激に増えており、その中には1件で570万円の方もおります。

下水道事業

人事院勧告に基づく職員給与・手当を減額するものです。

介護保険事業

居宅介護サービス給付事業の増額等により7216万円を増額するものです。

池谷議員 居宅サービス6000万円の高額になった要因は。

答弁 施設より居宅で看たい家族が増えていますので、訪問介護、訪問看護、福祉用具貸し出しが伸びています。

商品券

商品券の売払事業344万円を増額するものです。

茂木議員 町長は商品券を今後どうされるのか。

答弁 継続していきたい。

水道事業会計

人事院勧告に基づく職員給与・手当を減額するものです。

組合の設置

神奈川県町村情報システム共同事業組合の設置

14町村の情報システムネットワークの整備、管理及び運営をする一部事務組合を設置して、これに付帯する事務を共同処理するものです。

人事

山北町教育委員会委員

富田秀次氏（山北町岸）

が任期満了となるため、引き続きの選任が提案され同意しました。

任期は平成23年1月1日から平成26年12月31日まで。

南足柄市外二ヶ町組合議会議員

任期満了に伴い、指名推選の結果、牧田富彌氏（山北町岸）を選出しました。任期は平成23年2月10日から平成27年2月9日まで。

第5回臨時会

平成22年11月30日に開催されました。

特別職の職員の期末手当を0.2ヶ月分、一般職の職員の月例給を平均0.1%、期末・勤勉手当を0.2ヶ月分、それぞれ引き下げの条例の改正を、原案どおり可決しました。

審議した議案と議員の賛否

平成 22 年第 5 回臨時会（11 月 30 日）

議案番号	議案	議員名（議席順）												
		結果	佐藤光男	瀬戸顯弘	川村俊治	熊澤友子	池谷莊次郎	石田進二	杉本君雄	細川哲郎	茂木 猛	瀬戸恵津子	岩本章治	小菅光雄
78	山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	山北町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成 22 年第 4 回定例会（12 月 8 日～ 10 日）

80	平成 22 年度山北町一般会計補正予算（第 4 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	平成 22 年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	平成 22 年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）													
83	平成 22 年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）													
84	平成 22 年度山北町商品券特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	平成 22 年度山北町水道事業会計補正予算（第 2 号）													
86	神奈川県町村情報システム共同事業組合の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	南足柄市外二ヶ町組合議会議員の選挙について	推指名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	山北町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対を表しています。本杉博是議長は、採決に加わりません。



石田進二議員

町議会議員として11年以上にわたり地方自治振興に寄与された功績により表彰を受けられました。

県町村議会議長会表彰



茂木 猛議員



細川哲郎議員



佐藤光男議員

県地方自治功労者表彰



本杉博是議員



岩本章治議員

町議会議員として15年以上にわたり地方自治の振興発展に尽力された功績により表彰を受けられました。



一般質問

- 議員が行財政全般にわたって執行者（町長）に疑問をただし、所信の表明を求める議員主導の政策論争です。
- 質問議員は前もって質問要旨を通告し、答弁の準備の時間を確保することになっています。
- 質問として適当でないものは、事務的見解をただすもの、制度の説明を求めるもの、議案審議の段階でただせるもの、道路改修などの地区要望などとされています。

山北町議会では、対面型・一問一答方式、質問時間 60 分以内で行っています。

*一問一答方式とは、案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、納得のいくまで質疑、答弁を繰り返す方法です。また、傍聴者にもわかりやすく、緊張感のある深みを持った論戦が展開されています。

議会だよりの原稿は質問者本人が作成しています。

多くの方の傍聴をお待ちしています。

人 事



岩本 章治議員

Q ▶ 副町長不在はいつまでか

A ▶ 22年度末までに選任したい

質問 諸般の事情はあるにせよ、10月6日付で副町長

が不在となり現在も続いている。内部的には昇格人事で一部対応されているが、町長決裁が多くなるとともに、事務の停滞が発生しないか心配である。町長任期中不在体制を継続するなら、条例改正も視野に検討しなければと思うが、胸中を伺います。

答弁 職員に多少の負担はかけていますが、事務決裁規程で担当の課長、室長が代理決裁することになっていきます。綿密な調整を行い、停滞やサービス低下にならない運営に努めています。副町長は22年度末までに選任したいと考えていますので、条例改正は考えていません。

質問 3月定例会に上程する考えでよいのか。

答弁 3月に上程する考えで進めています。

質問 町長就任後しばらくは副町長が務めると言っていた。私は年内、年度内と思っていたが、なぜ10月の退任に至ったのか。

答弁 10月6日付で退職しています。ご本人のこともあ

りますから答弁は控えます。

質問 地方自治法では副町長を置くことになっている。年度末までにと言うことは、この間地方自治法に抵触しないと考えるか。

答弁 早く選任したいと何人かの方に接触しています。鋭意努力中です。

質問 副町長不在は庁舎内外で支障があると思うが重要度をどのように考えているのか。

答弁 庁舎内外で非常にウエートは高いと判断していますが、不在はデメリットもありますが、町長の出ることで内容把握ができるメリットもあります。

質問 副町長は各種委員会等の長、副、委員の役職を兼任している。行政側の不在は停滞ではないか。

答弁 内部で代行させ、支障のないようにしています。





熊澤 友子議員

がん予防

Q ▶ 子宮けいがんワクチン接種公費助成は

A ▶ 平成23年度を予定

子宮けいがん予防ワクチン接種と併用検査は

質問 ワクチン接種公費助成は国が2分の1となりましたが、町の取り組みは。

答弁 平成23年度を予定しています。

質問 対象者への周知は。

答弁 対象生徒と保護者に文書を渡し、保護者会等で説明し、周知徹底を図ります。

質問 併用検査は、細胞診とヒトパピローマウイルス検査を同時に行う検査です。検査結果が両方とも陰性で異常がなければ、3年間発がんの心配がなく、検診を受けなくて済みます。しかし、現在は細胞診だけです。併用検査への取り組みは。

答弁 検査感度が高いため、精密検査受診者の増加に伴い、費用負担や過剰検査等の問題点も抱えており、国の指針を参考に慎重に検討します。

質問 実施している市や町では、30歳以降の方々には効果が出ています。年齢制限で取り組む考えは。

答弁 対象年齢等を考慮し、国の指針を基準に検討しています。

ていきます。



行政サービスは

質問 役場には受け付けがありません。気軽に聞けるころがあると安心されると思いますが考えは。

答弁 総合案内があり、専門の職員を配置することは考えておりません。総合案内の位置がわかりやすいように、大きな案内板や担当職員の氏名を記載し、来庁者が困らぬよう職員側から迅速に声をかけしてまいります。

質問 各課をわかりやすく色分けできないか。

答弁 色分けも検討します。

質問 確定申告は、昼休み時間も受付や申告ができるようにならないか。

答弁 4人体制で、昼休み時間も行うとなれば、2人交替で対応しますので、待ち時間が増えることとなります。23年分の申告までに実施できるか検討します。

23年分の申告までに実施できるか検討します。

冬期観光

Q ▶ イルミネーションの今後は

A ▶ 協力・支援します

消えてしまったイルミネーション

質問 町内外の方々が楽しみにしている。なぜ中止したのか。

答弁 クリスマスin丹沢湖は、冬期の丹沢湖周辺地域への観光客誘致と地域活性化及び交流推進を図るため、地元関係団体を中心に実行委員会を組織し、実施してまいりました。諸事情により平成21年度は中止となり、今年度も中止となりました。

質問 予算を2年間も執行しないということに対してどう考えるのか。

答弁 今後は、地元と充分協議し、実施が確実な状況となった時に、協力・支援に必要な予算を計上します。さらに、イルミネーションを活用して地域振興を図り地域の自主性を高めるなど、意欲のある町内の団体等にイルミネーションを貸し出す制度づくりも検討します。

中央公民館の利用
質問 開館時間は弾力化できないのか。

答弁 午前9時から午後10

時までと条例で定められています。しかし、イベント等の準備や特別に必要がある場合は、事前に利用者と調整をし、開館時間前に役員が入館できるように対応しています。

質問 施設内に自動販売機や、飲食コーナー設置の考えは。

答弁 自動販売機は設置しません。飲食コーナーは、1階に検討していきます。

ごみ減量再資源化事業
質問 ごみ袋の記名は今後も進めるのか。

答弁 個人情報漏えいやプライバシー保護から抵抗がある制度かもしれませんが、個人の情報は個人が保護管理していただくように、お知らせしています。近隣市町に比べ、分別に協力をいただいていることから、記名は継続します。



瀬戸 恵津子議員



以前開催されたクリスマスin丹沢湖

23年度予算



川村 俊治議員

Q ▶ 新たな事業への財政負担は

A ▶ 適正に判断して取り組みたい

質問 歳入の見通し、予算規模と重点施策は。

答弁 一般会計が49億円前後、特別会計と水道事業会計を合わせた総額では80億円前後と予想しています。子育て支援や安心・安全のまちづくり、高齢者や障害のある方にやさしいまちづくり、教育環境の充実、人口増を重点施策として取り組みます。

質問 歳入が不足する場合はどうするのか。

答弁 企業誘致などにより税収増を図るとともに、基金や地方債の活用で財源を確保したい。

質問 歳入増の一案として昨年、下水道接続率を上げる提案をしたがどうなっているか。

答弁 接続できない原因の洗い出しと目標接続率を22年度中に設定し、戸別に接続のお願いをしています。

質問 23年度も臨時財政対策債に依存せざるを得ないと思うが、町にとって良い制度だと考えるか。

答弁 後年度に元利償還金の全額を地方交付税で措置されるものですが、あくまでも

借入金であり、地方債現在高や公債費比率等に影響するため、地方債を活用したい事業の推進に支障が生じており、良い制度とは思いません。

質問 財政状況が好転し不交付団体になった時は借金だけが残るのではないか。

答弁 そのとおりです。

質問 町村会、県などを通じて地方交付税に戻すよう提案する考えはないか。

答弁 強く要望していききたい。

質問 新たな事業への取り組みは、国の政策や財政状況を考慮して対応すべきと考えられるか。

答弁 選挙公約は実施したいが適正に判断していききたい。

質問 給食費無料化は国の子ども手当と重ならないか。

答弁 重複しないように考えていきたい。

質問 町の最大の課題である人口減少を止める政策として、結婚活動を支援する政策は。

答弁 6月議会での質問に対する答弁に沿って、23年度から実施していきたい。

定住対策

Q ▶ 町営住宅の推進を

A ▶ 中堅所得者住宅を建設します

質問 町営住宅の利用状況は。

答弁 町営住宅は211戸で、低所得者向け住宅が178戸、改良住宅が8戸、中堅所得者住宅が25戸あります。利用状況は、低所得者住宅は121世帯、改良住宅は8世帯、中堅所得者住宅は25世帯で、空き家は57戸です。

質問 町営住宅の管理状況は。

答弁 全体の7割が昭和20年代からの木造平屋を中心とした建物となっており、住宅の老朽化が著しい状況であるため、町では建て替えや修理取り壊し等の再編整備を進めているところです。

質問 7割が老朽化しているが、町営住宅の全体計画は。

答弁 改定作業中のマスタープランでは、低所得者住宅100戸、中堅所得者住宅100戸の計画です。

質問 山北駅北側住宅等の進捗は。

答弁 関係者から事業協力の同意書が提出されましたので、中堅所得者向け町営住宅を先行して取り組むこととし、隣接建物等の対応や商業

施設の誘致等については、関係者との調整状況を踏まえながら段階的に進めていきたいと考えています。

質問 中堅所得者住宅の入居時期は。

答弁 26年度を目標に取り組んでいます。



中堅所得者住宅 (サンライズ東山北)

山北ブランドの開発

質問 山北ブランドを開発する計画時期は。

答弁 試作品を23年度に完成は25年度に予定しています。

質問 商開開発の臨時職員募集は。

答弁 職員の採用は考えておりませんが、県と連携を図り、商品開発等のアドバイザーの派遣や新たな補助制度で協力・支援を考えています。



杉本 君雄議員

森林活用



茂木 猛議員

Q ▶ 森林セラピーの進捗は

A ▶ 4月に基地認定の予定

質問 森林を活用するには、森林セラピーを推進することが重要と思う。取り組みは順調か。

答弁 平成15年度から、国有林ふれあいプロジェクト基本構想を策定し調査検討を行い、平成18年度からは森林ふれあい健康セラピー事業として推進しております。この事業は森林に加え、温泉や文化等の地域資源を生かし、町民の健康増進、都市住民との交流、観光振興等、積極的に行うことを目的としています。

平成19年3月、森林ふれあい健康セラピーフォーラムの開催から具体的取り組みを続け、セラピーロードとして、「河村城跡・酒水の滝」、「世附の森」、「西丹沢県民の森」、「大野山」の4コースを申請し、23年4月に森林セラピー基地認定取得の予定です。

今後は、多くの方々の継続利用を目指し、「認定」を町内外に大々的に周知するため、オープンイベント等を開催し、また、町内外の関係団体と連携しながら、地域資源を活用し、体制づくりや人材育成にも積極的に取り組んで



認定に向けての現地調査(世附)

質問 国だけでなく、各種団体による、用具等の購入への補助があると聞かすが、その対応は。

答弁 具体的な情報収集はしていませんが、国だけでなく森林関係の財団法人や社団法人による補助事業も検討し活用していきたい。

質問 町ホームページへ森林セラピーの認定に向けた情報発信を進めるべきではないか。

答弁 正式に認定が決まったらと考えています。

質問 「山(やま)ガール」と呼ばれる、若い女性の登山愛好家が増えている。定住対策や婚活に活かせないか。

答弁 役場だけの取り組みではなく、NPOや民間諸団体を後押しし、若い方を増やしていきたい。

23年度予算

Q ▶ 予算編成の考え方とその政策は

A ▶ 元気な山北をつくる事業を推進します

質問 台風9号の災害復旧への対応や厳しい財政状況の中、予算編成の優先課題は。

答弁 選挙公約の元気な山北をつくるための事業を積極的に推進する中で、①高齢者や障害のある人にやさしいまちづくり②教育環境の充実③子育て支援や安全安心なまちづくり④人口を増やすための施策を重点に据え、すぐに実施できる施策と中長期的に推進する施策とを見極めて編成します。

質問 高齢者家族にとって生活交通手段の確保は切実な問題であり、福祉タクシー・オンデマンドバスの構想は。

答弁 高齢化が進み交通手段を持たない町民の増加が予想される中、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らすことが出来る環境づくりとして、オンデマンドバスを含む福祉タクシーの運行について、既に庁内で検討に入りました。23年度は町民へのアンケート、先進事例の調査研究等を実施し、24年度運行を目指します。

質問 教育環境の充実、第2子からの保育料の無料化及

び給食費の半額については。

答弁 負担の公平性を考慮した中で、23年度から段階的に減額する方向で検討しています。また、小中学校の給食費についても減額に向けて検討中です。さらに、児童生徒の健全育成と基礎学力定着を図る上で、臨床心理士や教育指導員等の配置も考えています。

質問 土砂災害危険区域の治山治水対策は。

答弁 町内の整備を要する箇所については毎年度継続して県に要望しています。

質問 山北駅周辺の再生は。

答弁 駅前を拠点として、周辺の諸施設とのネットワークにより、総合的なまちづくりとして再生します。飲食店対策をはじめ、空き店舗対策を引き続き実施し、さらに新たな定住者確保のため、駅北側に中堅所得者向け町営住宅の建設を行います。



議会活動報告

1 月		12 月		11 月	
7	議会だより編集委員会	8	第4回定例会・本会議	1	郡町村議会議長会臨時総会
14	議会だより編集委員会	10	第4回定例会・本会議	4	県町村議会議長会役員会
24	議会だより編集委員会	27	議会だより編集委員会	5	足柄上地区1市5町議会議員スポーツ大会
25	郡議会議員研修会			17	第54回町村議会議長全国大会
25	議会運営委員会			22	足柄消防組合議会臨時会
25	第1回臨時会・本会議			24	自治功労者表彰式・町村議会議員研修会
25	全員協議会			26	議長・副議長各常任委員会委員長等研修会
25	町村議会議長・副議長・事務局長合同研修会			30	議会運営委員会
					第5回臨時会・本会議
					全員協議会
					県地方自治功労者表彰式



議会の傍聴に

おいで下さい

3月定例会(予定)

3月3日(木)～16日(水)

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**



●議会ホームページ● <http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>



咲きはじめた梅の花



編集後記

今年(寅年)は温かい三が日となり穏やかな日々をお過ごしのことであつたと思います。

寅年より卯年となりました。うさぎは前に力いっぱい前進したいものです。

世の中、景気は多少良くなっていますが、実感はわかない状況です。今年の一年間を象徴する漢字を「回復」としたいものです。

議会としても、人口・信頼・景気・地域活性化の回復の年となるように議員一丸となつて活動をしていきたいと思つています。

町民の皆様のご意見ご要望をお寄せ下さい。



委員長
副委員長

杉本 君雄
池谷 次郎
川村 俊治
熊澤 友子
茂木 猛
瀬戸 恵津子

●表紙の写真は、「道祖神祭りで川村囃子を披露する保存会の子ども達」です。